

担任 井上 志津子

4月に、3年生4名、6年生1名の計5名で「あおば3組」は、スタートしました。少人数の学級だからこそ、子どもたちはお互いの性格や個性を熟知し、心の距離が縮まったと思います。反面、遠慮がなくなり、口げんかやトラブルも多々ありました。その都度、どうすればよかったか、どのような言い方で相手に自分の気持ちを伝えれば良かったかを皆で考えるようにしてきました。国語や算数だけが勉強ではなく（もちろん国語算数も大事ですが。）、学校は、人間関係を学ぶ場です。学級内のけんかをひとつひとつ解決していく中で、良好な交友関係を築くコミュニケーションの取り方を学ぶことができました。

1年間の学級経営を振り返って

学習面

- 学習の決まりについては、こちらから声をかければ素直に応じることができました。朝の準備は、子どもたちがお互い声をかけて、できるようになってきました。また、交流学級への移動が遅かったのですが、授業に遅れないようにしようという自覚が生まれ、移動が速くできるようになりました。
- 音読は、マル読みができるようになりました。マル読みは、友だちが読んでいるのを聞いていないと自分の読む場所が分からなくなります。友だちが読むのをしっかり聞いて、文節を意識した音読ができるようになりました。
- 漢字については、個人差はありますが、2学期3学期の新出漢字が読めるようになりました。残りの日々に1学期の漢字も復習したいと思います。
- 年間を通して、かけ算九九の確実な定着を図ってきました。個人差はありますが、 2×1 、 $2 \times 2 \dots$ のように順番に言えば8割ほど言えるようになりました。ランダムに出題されても瞬時に解答できることが、次年度の課題です。
- 宿題提出については、保護者の方の協力を頂き、国語と算数のプリント類は、ほとんどの児童が取り組むことができました。「家族読書」については、負担が大きかったようなので、火曜日の朝に読み聞かせをしてカードに書かせるなどの取り組みを継続してきました。
- 運動会や、持久走大会などさまざまな行事の事前準備や学習・自立活動を通して、学習意欲が向上し、児童一人一人が達成感を味わうことができました。

生活面：

- ネームと歯ブラシコップは、忘れがちなので、学級保管としました。「ハチツボネ」の児童による自己管理（毎日忘れない）ができることが次年度の課題です。
- 帰りの会で翌日の時間割の確認が徹底されず、子どもたちが体育服を忘れることが時々あったことは、担任の反省点です。

担任として、いたらぬ点が多々あったにもかかわらず、この1年、様々な場面で保護者の方々のご協力を頂きました。感謝しております。4月から、3年生は4年生へ、6年生は中学生へと進級、進学します。新たな目標、新たな希望を胸に、子どもたちが大きく成長することを願っております。ありがとうございました。